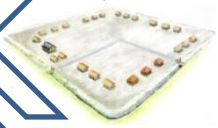




恒川 NEWS



103 次確認調査を行いました

11月28日から12月19日にかけて103次確認調査を行いました。場所は国道153号からほど近い、恒川清水より北東の地点です。ここは公園整備計画の中で「清水エリア」に位置する場所で、調査は公園整備のために地下の遺跡がどのくらいの深さにあるのか確認することを目的に行いました。

調査の結果、現在の地面から1m前後の深さで遺跡が確認され、古墳時代から奈良時代にかけての竪穴住居(3軒)や恒川清水の方へ向かって水が流れた痕跡、縄文時代から古墳時代にかけての土器などが見つかりました。これらは図面や写真で記録を作成した後、砂を入れて保護してから埋戻しました。



調査区(東から)



竪穴住居(奈良時代)内のカマド



カマドのそばから出土した甕

102次調査のようす

現在102次調査では、北側での調査を行っています。

ここでは礎石の可能性が高い大きな礫を3つ確認しており、周辺に礎石建物が建っていたと想定しています。3つの礫のうち2つは動かされた痕跡があり、本来の姿は留めていませんでした。

調査では、これらの礫より下の土を少しずつ掘り下げていき、大量に敷かれた小型の礫を確認しました。こぶし大から人頭大ほどの大きさで、約5m四方の範囲でぎゅうぎゅうに敷き詰められていました。その性格については検証中ですが、礎石建物の基礎工事の一部である可能性も考えられます。これらの礫がどこまで広がるのか、3つの礎石と直接的な関係があるのか、解明に向け調査を進めています。



多量に出土する礫



作業のようす

恒川まいにち見学会！

恒川官衙遺跡の発掘調査では、毎日現場のようすを直接ご覧いただけます。

・平日10時～15時（土日祝は休み）

★令和元年12月27日～令和2年1月5日までお休みです。

・現地で調査員が直接解説します。

史跡恒川官衙遺跡調査速報 22

令和元年12月24日発行

飯田市教育委員会

生涯学習・スポーツ課 文化財活用係

調査担当者：坂井勇雄・福井優希

TEL：0265-22-4511（内線：3752）

FAX：0265-22-7969

E-MAIL：bunkazai@city.iida.nagano.jp

HP：https://www.city.iida.lg.jp/site/bunkazai

